

せたふく No.16

住宅改修 一生活動作の自立・介護負担の軽減のために一

住宅の耐震補強を知っていますか？

大きな転機は阪神・淡路大震災

平成 7 年の阪神・淡路大震災で建物の倒壊により、多くの人命が奪われました。以来、既存建物の耐震化が重要な防災課題となりました。建築基準法が改正された昭和 56 年以前の建物は、当時の耐震基準が現在

より低かったため、補強が必要となる場合が多いのです。補強の要否を判断する「耐震診断」は以前からありましたが、この大震災をきっかけに注目されることになりました。

耐震診断や補強の方法

耐震診断は現地での調査を基に、建物の持つ耐力を計算します。そこで補強が必要と判断された場合は、所有者の最終判断で補強工事をするか決めます。

木造住宅の補強は、基本的には次の 3 つを単独または組合せて行います。

1. 壁の補強（構造用合板を貼る・スジカイを入れる・柱と土台や梁をつなぐ金物を取付ける）

2. 基礎の補強（鉄筋コンクリートの基礎で補強する・または増設する）

3. 屋根の軽量化（重い瓦などから軽い材料に替えることで地震力を軽減する）

通常は 1 がほとんどですが、他に特殊な工法・金物などを使用する例もあります。

耐震診断で判明した弱点を含めて全体的にバランスよく補強することになります。

耐震診断や所定の強度以上への耐震補強工

事については、昭和 56 年以前の建物で一定の条件に合う場合は自治体から助成金が出ます。自治体によって助成の内容が異なるので、事前にお住まいの地域の耐震担当窓口にお問合せ下さい。

将来、発生が予想される地震に備えて、住まいを見直してみましよう。

家具の転倒防止も忘れずに！

【住宅改修は、適切なアドバイスができる専門家に相談しましょう】



スジカイを入れる



構造用合板を貼る

まちへ出る仕掛け 「二子玉川公園」

待望の春の訪れです。自然の息吹きを感じるためにお出掛けしましょう！

平成21年度より住民参加型の公園づくりを進めてきた「二子玉川公園」が平成25年4月に一部がオープンしました。多摩川の水辺と国分寺崖線の緑に囲まれた自然豊かな公園です。「眺望広場」からは丹沢の山々や富士山を望むことができます。多摩川の源流から二子玉川付近までの自然や文化をテーマとした周遊式日本庭園の「帰真園」はユニバーサルデザインの工夫がされていて、誰もが日本の空間文化を楽しめる庭園となっています。また、築100年の登録有形文化財に登録された「旧清水邸書院」が復元されています。

園内は高低差がありますが、車いすやベビーカーでも移動しやすいように整備



水辺より臨む旧清水邸書院

され、一休みのコーナー、手すり替わりになる置石、階段・スロープなどの手すりの端部に行先を示した点字があり、点字・触地図による公園案内マップもあります。

車いすで遊べる砂場や草花に触れられる花壇があり、土や花や木を香りで感じることもできます。



車いす用の砂場



草花に触れられる花壇

東急田園都市線
二子玉川駅より
徒歩9分
東急大井町線
上野毛駅より
徒歩8分
■お問合せ
二子玉川公園
ビジターセンター
TEL03-3700-2735

イベントのご案内 「震災から命を守ると！」

高い確立で起こるとされる首都直下型地震。菊池顕太郎氏による講演・防災グッズやトイレ工作の紹介など盛り沢山、日頃の備えを学びましょう！

5月17日(土) 11:00~16:00 北沢タウンホール第1・2集会室
お申込み・お問合せ：せたふく TEL03-6413-5840





会員「ルー」コラム 「買い物」



先日の雪は関東甲信地域でも記録的な大雪となり、大変な思いをされた方も多かったのではないのでしょうか。私も当日は甲府にいてあやうく雪に埋もれるところでした。その後のニュースでは物流が寸断されてスーパーやコンビニに商品がないというのを目にしました。私の近所のスーパーでも品薄で特にパンは何もない状況でした。買い物に行っても品物がないという災害時の怖さを垣間見た思いがしました。

さてそんなスーパーでも中小のスーパーが大手のチェーンストアやコンビニに押されてだんだんと姿を消しつつあります。車を運転しない人にとっては近くに買い物をするところがないというのはかなり深刻な問題かと思えます。

一般に中小のスーパーは1日の売上が

80万はないと商売としては面白くないでしょう。それが1日50万を切り閉店を余儀なくされているスーパーが八王子のとある団地内にあります。今では高齢化率4割以上という典型的な昔からの団地です。車を運転する人は大型店に買い物へ行くのでますます売上は減るばかりです。しかしこの店が無くなると困る人も沢山います。店では、住民からの働きかけで近くの大学と協働で「買い物の配達」という付加価値をつけることで店を存続させようという試みが行われるようです。

住民も参加してアイデアを出し合い、店を再起し、生活も守られ安心して住み続けられる地域になる、という全国のモデルケースになっていけばと期待しています。

(K. O)

福祉用具のワンポイント「介助ベルト」

介助ベルトはご自分だけでは動くことが難しい方の介助での移動・移乗の際に、バランスを保ったり立ち上がりの動作の補助のため等に使います。入浴用の肌に直接装着するタイプ・ベッドや車いすでの衣服の上から装着するタイプ、胴にのみ巻きつけるタイプ・腿部にも固定するタイプ、等多種類のタイプがあるのでいろいろ比較をさ

れるのをお勧めします。あくまでもご本人が動こうとされる際により安定して介助を行う為の補助具として有効ですが、持ち上げる為に使うのは不向きです。公的制度の補助もありますので各自治体にご相談下さい。



「介護保険の住宅改修」相談承ります！



要介護認定を受けた方は必要に応じて、手すり設置や段差解消などに介護保険の給付を受けることができます。せたふくは平成21年度より世田谷区から委託されて、適切な工事が行われるように訪問調査を行っています。住宅改修についてお気軽にご相談ください。

住まいの相談承ります

TEL 03-6413-5840
FAX 03-3416-6473

高齢の方、障がいのある方、介護されている方、ケアマネジャーさん
住宅改修、福祉用具、助成金のことについてなど

< 住環境 > 何でもご相談ください。

お気軽に電話またはFAXにてご連絡先をお知らせください。折り返しご連絡いたします。

「せたふく」とは？

NPO法人世田谷福祉住環境コーディネーター研究会の愛称です。

せたふくは建築・福祉・保健・医療などの専門職や介護経験者など多彩なメンバーが参加し
相互に連携を取りながら、地域で自立した暮らしをするためのお手伝いをいたします。

相談事業

一般の方から福祉関係者の方まで
住まいの相談を承ります。

ネットワーク構築

情報交換・交流の場を持ち
他団体と連携をします。

人材育成

勉強会・見学会・調査研究を
進めています。

せたふくは6つの分科会が活動をしています。

- ・ 住宅改修研究
- ・ 世田谷区訪問調査分析
- ・ 高齢者・障がい者と防災
- ・ 住宅相談
- ・ 広報
- ・ WEBバリアフリー

バリアフリー相談のご案内

毎月第1木曜日の10時~13時に北沢タウンホール10階ブースにて無料のバリアフリー相談会を開催しています。ご希望の方は事務局までご連絡ください

せたふく No.16

発行：NPO法人世田谷福祉住環境コーディネーター研究会

発行日：平成26年4月1日

お問合せ：事務局 〒155-0032 世田谷区代沢2-2-23 スタジオ・ヴォイス内

TEL：03-6413-5840 FAX：03-3416-6473

e-mail: setafuku@email.plala.or.jp

http://www.setafuku.org/

